

海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 >

参考値

(データ集約 : 5/16)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に約30m地点)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に約1.3km地点)		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時	平成25年5月15日 6時50分		平成25年5月15日 7時05分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	60
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約0.42Bq/L、Cs-134が約1.1Bq/L、Cs-137が約1.5Bq/L) を下回る場合は、「ND」と記載。ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

## 海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 再測定 >

(データ集約 : 5/16)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に約30m地点)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に約1.3km地点)		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時	平成25年4月8日 6時55分		平成25年4月8日 7時20分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
Cs-134 (約2年)	0.47	0.01	0.39	0.01	60
Cs-137 (約30年)	0.87	0.01	0.75	0.01	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

詳細分析(リンモリブデン酸アンモニウム吸着捕集法)による分析結果を記載。

分析機関：東電環境エンジニアリング(株)

## 海水核種分析結果 < 沿岸 福島第一原子力発電所 再測定 >

( データ集約 : 5/16 )

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に約30m地点)		福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に約1.3km地点)		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時	平成25年4月15日 6時40分		平成25年4月15日 7時05分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
Cs-134 (約2年)	0.78	0.01	0.33	0.01	60
Cs-137 (約30年)	1.5	0.02	0.58	0.01	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

詳細分析(リンモリブデン酸アンモニウム吸着捕集法)による分析結果を記載。

分析機関：東電環境エンジニアリング(株)

海水核種分析結果 < 沿岸 福島第二原子力発電所 >

参考値

(データ集約 : 5/16)

採取場所	福島第二 北放水口付近 (3,4号機放水口付近) (福島第一から約10km地点)		北迫川南側付近 (1,2号機放水口から南側に約11km地点) (福島第一から約23km地点)		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時	平成25年4月9日 9時30分		平成25年4月9日 7時30分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	0.27	0.00	0.086	0.00	60
Cs-137 (約30年)	0.47	0.01	0.17	0.00	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約0.50Bq/L) を下回る場合は、「ND」と記載。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

Cs-134、Cs-137については、詳細分析 (リンモリブデン酸アンモニウム吸着捕集法) による分析結果を記載。

分析機関：東電環境エンジニアリング (株)

## 海水核種分析結果 < 沿岸 福島第二原子力発電所 >

参考値
-----

( データ集約 : 5/16 )

採取場所	福島第二 北放水口付近 (3,4号機放水口付近) (福島第一から約10km地点)		北迫川南側付近 (1,2号機放水口から南側に約11km地点) (福島第一から約23km地点)		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
試料採取日時時刻	平成25年4月16日 10時00分		平成25年4月16日 7時20分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	0.11	0.00	0.058	0.00	60
Cs-137 (約30年)	0.20	0.00	0.11	0.00	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約0.46Bq/L) を下回る場合は、「ND」と記載。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

Cs-134、Cs-137については、詳細分析 (リンモリブデン酸アンモニウム吸着捕集法) による分析結果を記載。

分析機関：東電環境エンジニアリング (株)

海水核種分析結果 < 沖合 >

( データ集約 : 5/16 )

採取場所 (地点番号)	請戸川沖合3km (T-D1)				請戸川沖合3km (T-D1)				1F敷地沖合3km (T-D5)				炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	上層		下層		上層		下層		上層		下層		
試料採取日時刻	平成25年4月9日 9時04分		平成25年4月9日 9時04分		平成25年4月16日 8時58分		平成25年4月16日 8時58分		平成25年4月9日 9時33分		平成25年4月9日 9時33分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
Cs-134 (約2年)	0.032	0.00	0.031	0.00	0.025	0.00	0.022	0.00	0.034	0.00	0.021	0.00	60
Cs-137 (約30年)	0.062	0.00	0.055	0.00	0.052	0.00	0.044	0.00	0.062	0.00	0.040	0.00	90

採取場所 (地点番号)	1F敷地沖合3km (T-D5)				2F敷地沖合3km (T-D9)				2F敷地沖合3km (T-D9)				炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	上層		下層		上層		下層		上層		下層		
試料採取日時刻	平成25年4月16日 8時26分		平成25年4月16日 8時26分		平成25年4月10日 8時52分		平成25年4月10日 8時52分		平成25年4月17日 8時53分		平成25年4月17日 8時53分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	試料濃度 (Bq/L)	倍率 ( / )	
Cs-134 (約2年)	0.037	0.00	0.037	0.00	0.022	0.00	0.024	0.00	0.013	0.00	0.063	0.00	60
Cs-137 (約30年)	0.078	0.00	0.074	0.00	0.047	0.00	0.042	0.00	0.026	0.00	0.12	0.00	90

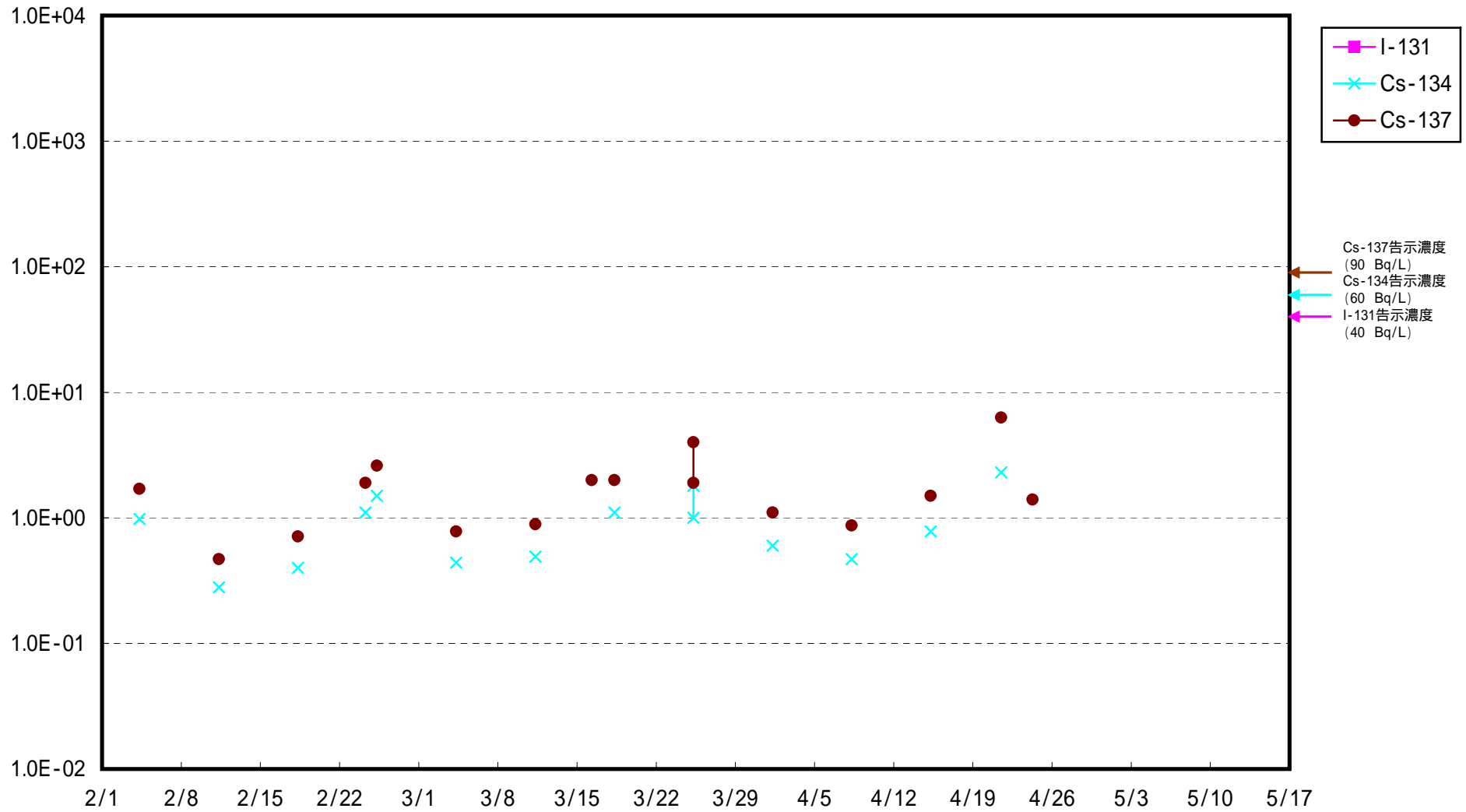
炉規則告示濃度は、「Bq/cm<sup>3</sup>」の表記を「Bq/L」に換算した値

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

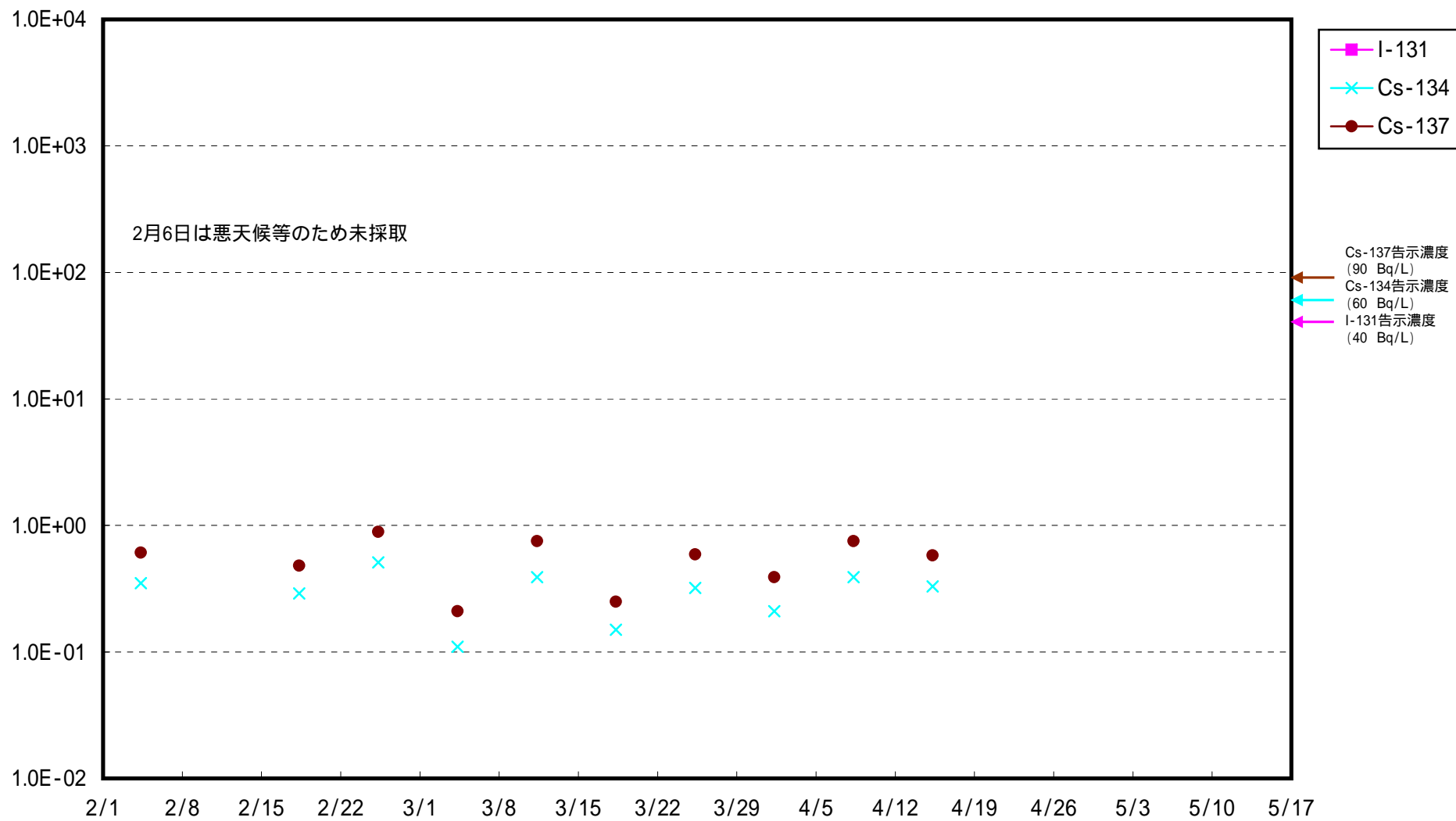
詳細分析(リンモリブデン酸アンモニウム吸着捕集法)による分析結果を記載。(H24 5/14公表分より)

分析機関: 東電環境エンジニアリング(株)

福島第一 5,6号機放水口北側 海水放射能濃度 (Bq / L)

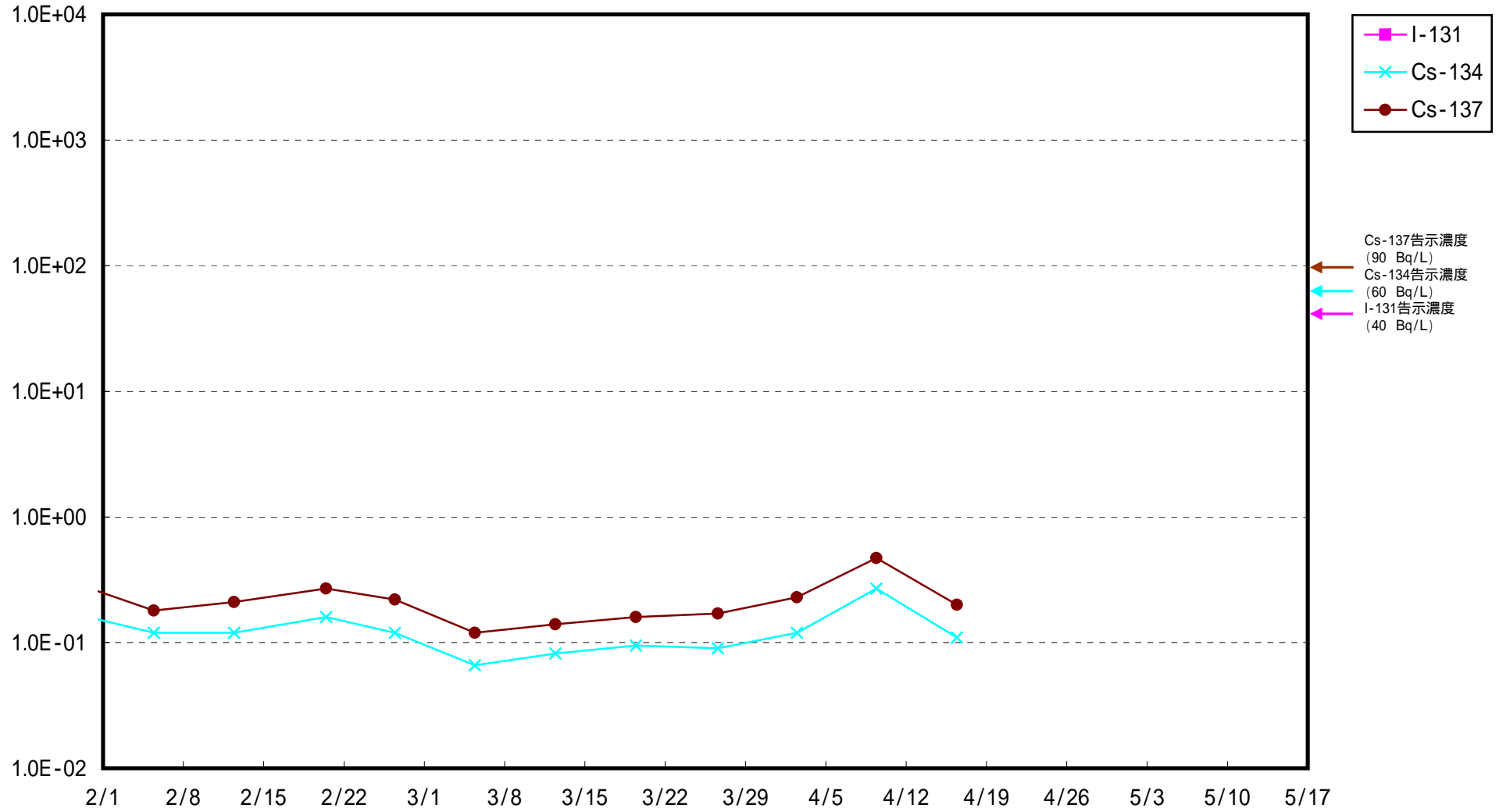


福島第一 南放水口付近 海水放射能濃度 (Bq / L)

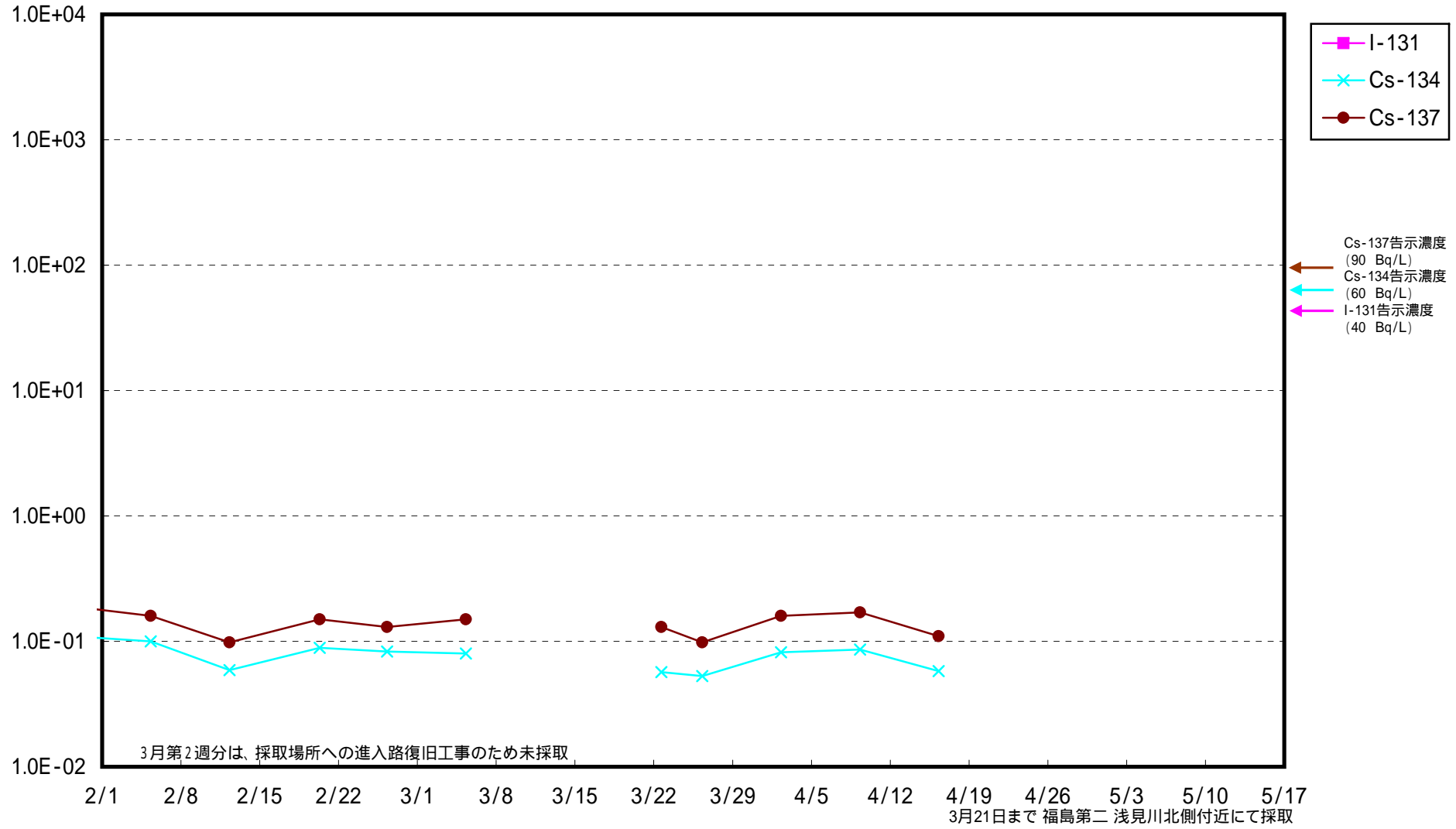




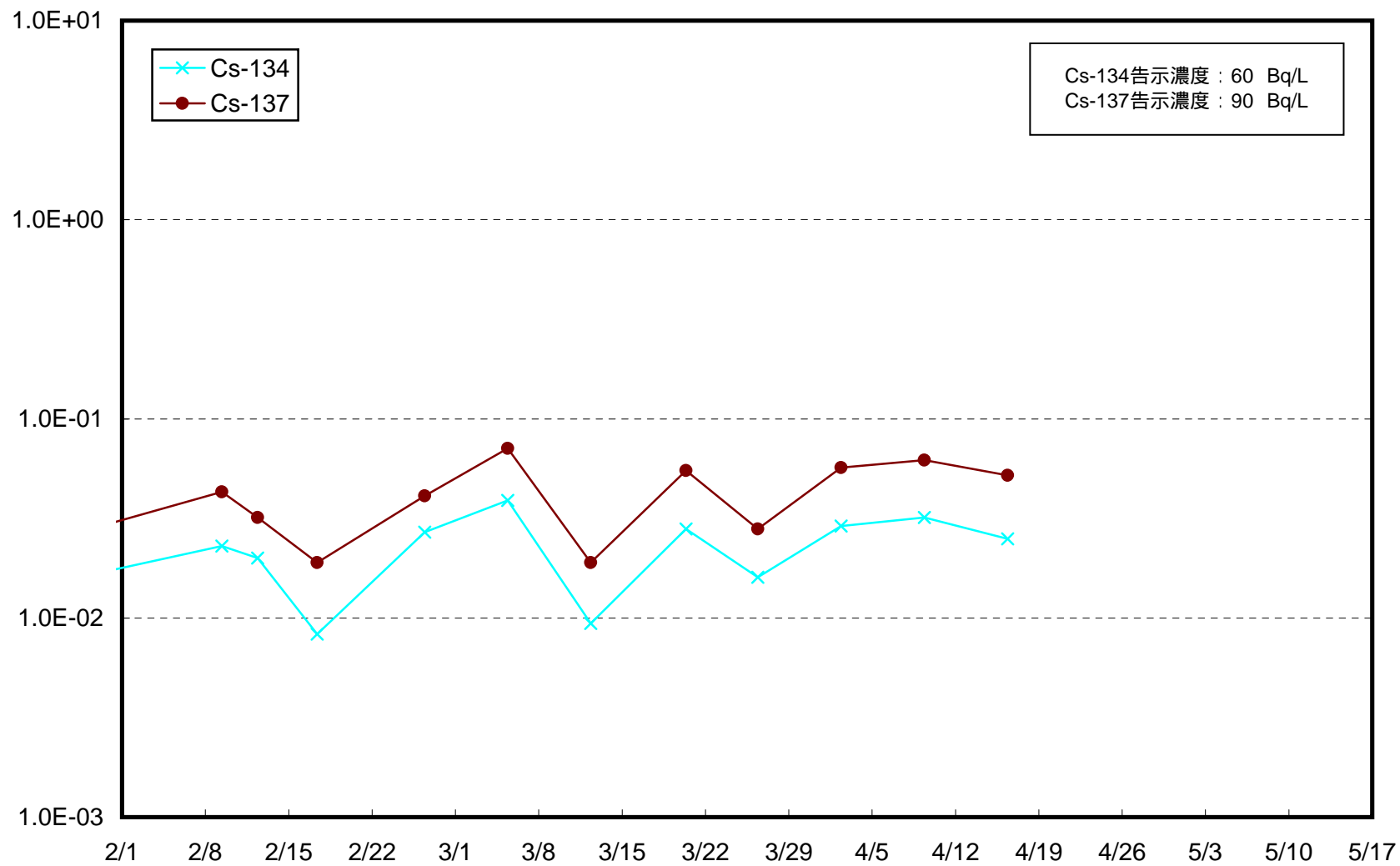
福島第二 北放水口付近 海水放射能濃度 (Bq / L)



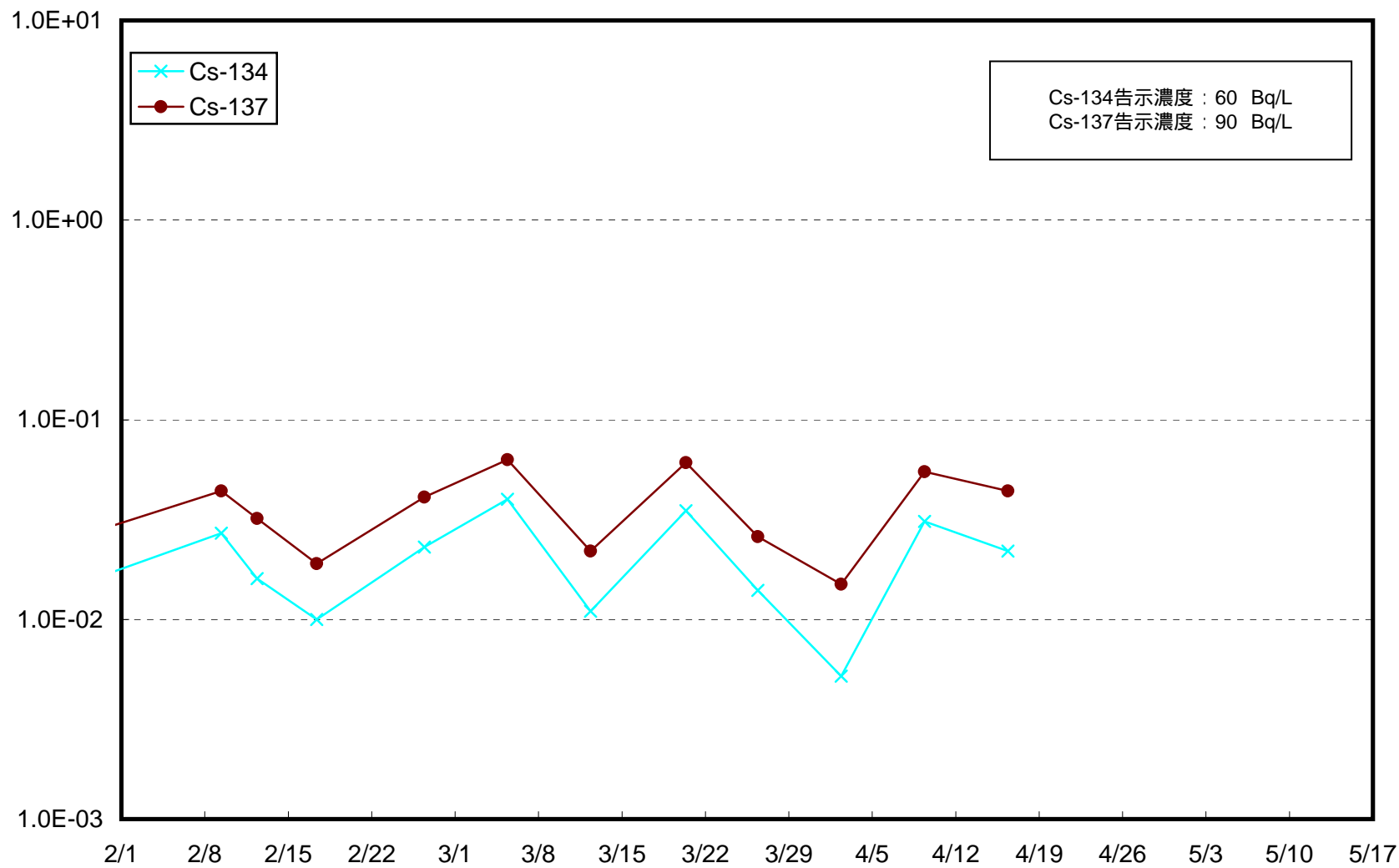
北迫川南側付近 海水放射能濃度 (Bq / L)



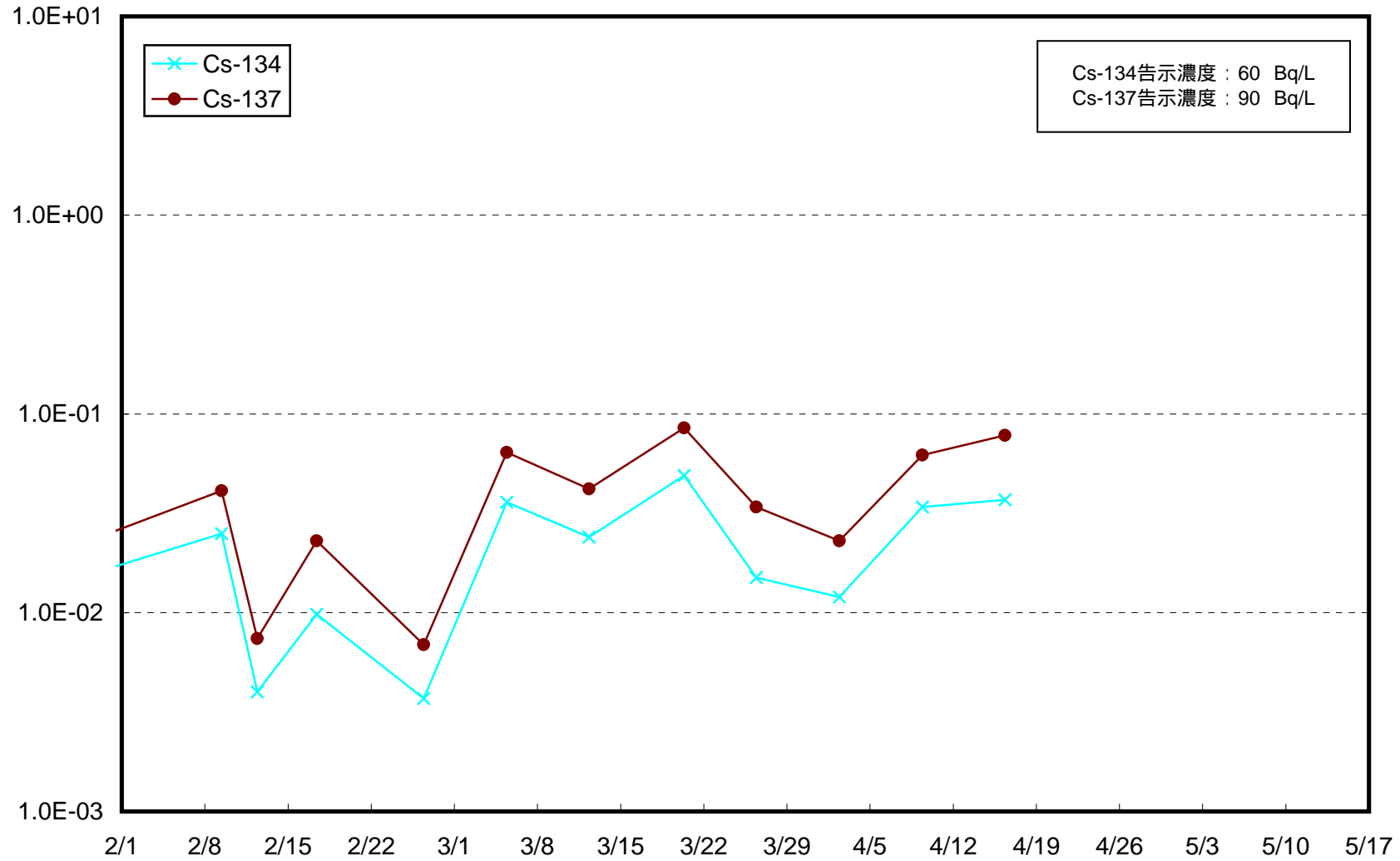
請戸川沖合3km(T-D1) 上層 海水放射能濃度 (Bq / L)



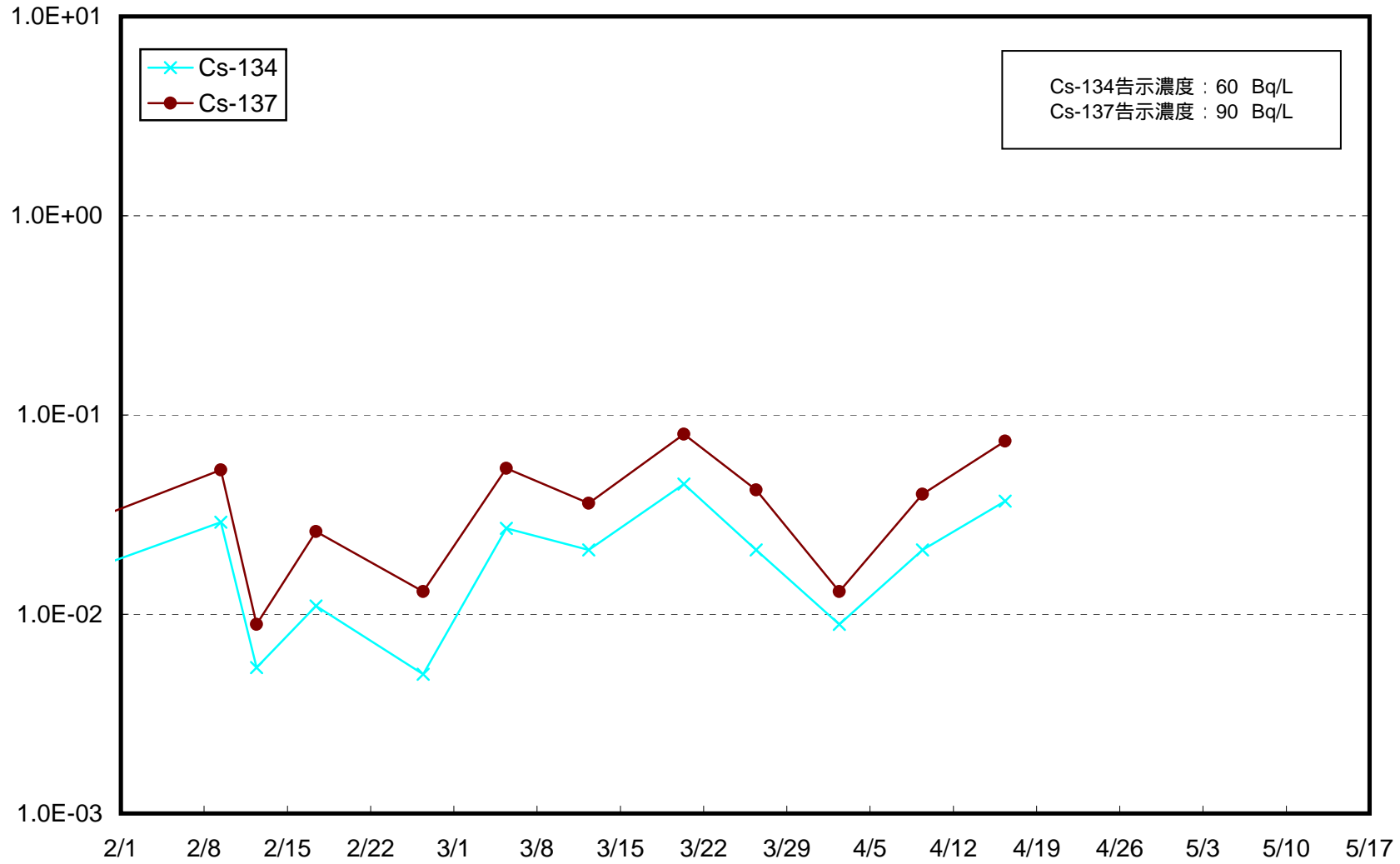
請戸川沖合3km(T-D1) 下層 海水放射能濃度 (Bq / L)



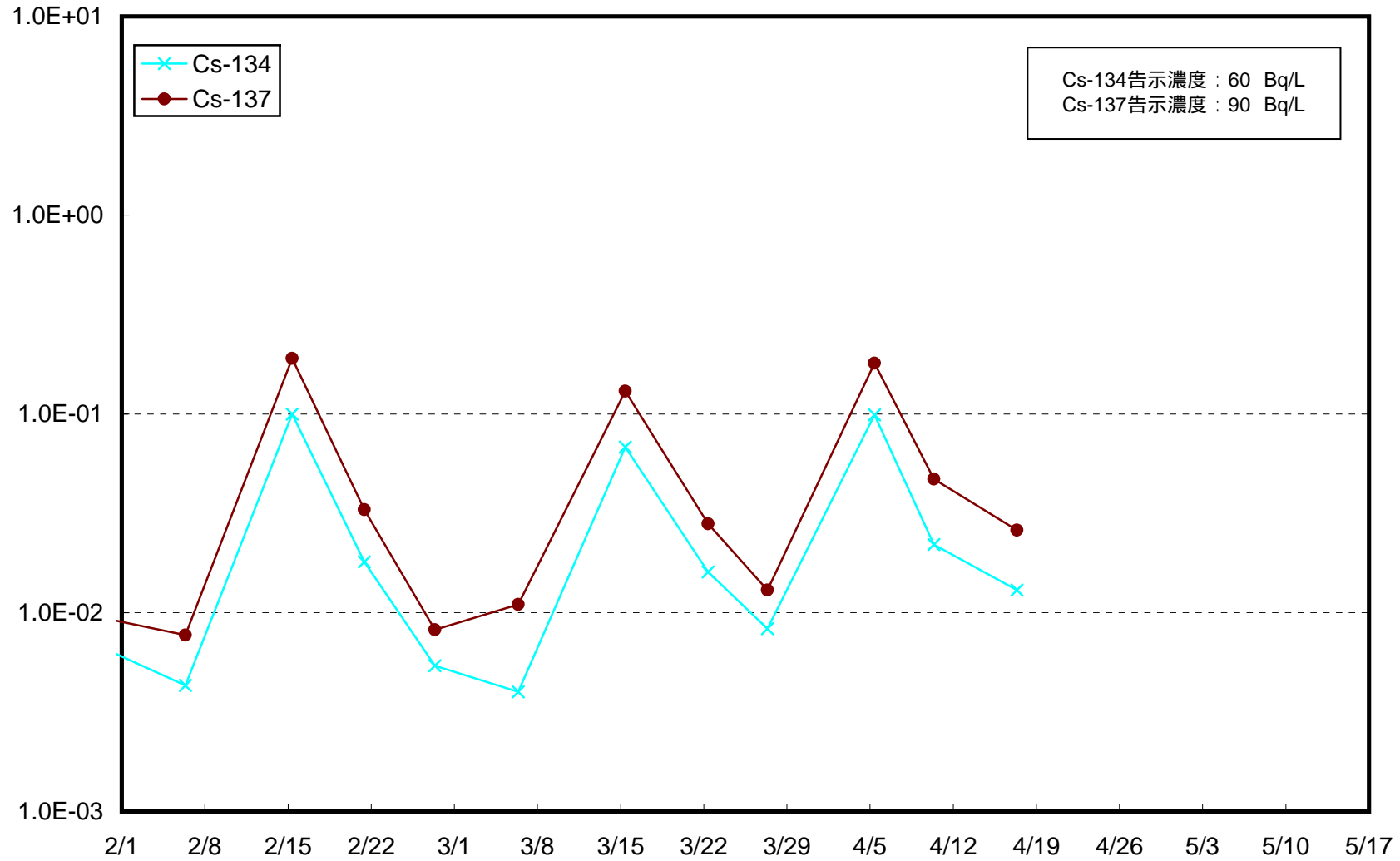
福島第一 敷地沖合3km(T-D5) 上層 海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第一 敷地沖合3km(T-D5) 下層 海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第二 敷地沖合3km(T-D9) 上層 海水放射能濃度 (Bq / L)



福島第二 敷地沖合3km(T-D9) 下層 海水放射能濃度 (Bq / L)

